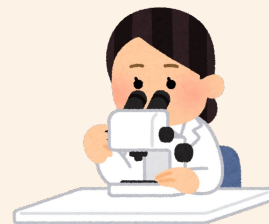


2026年度 SSH特設科目「SSII」

【第9回】 ゼミ発表スライド完成

2026年7月2日（木）



専門的課題研究のイメージ

STEP1

研究テーマを決める

STEP2

リサーチクエスチョンを導く

STEP3

仮説を立てる

STEP4

適切な研究方法を選ぶ

中間目標

研究計画書を作成する

STEP5

調査・実験を実施する

STEP6

結果をまとめて考察し、結論を導く

STEP7

研究内容をまとめ、発表する

より高次のRQへ

高1
中間発表

探究
Day

生徒探究
発表会

step1

振り返り

step7

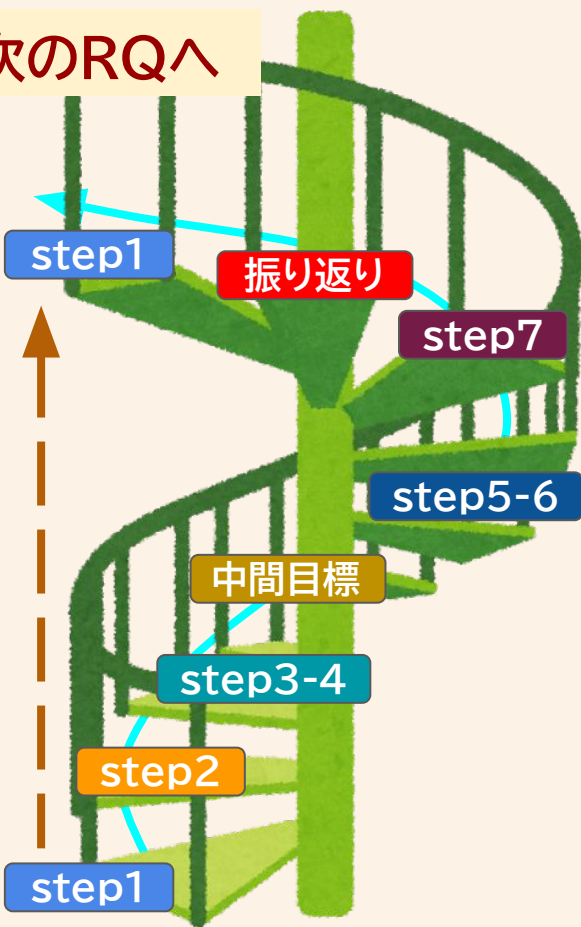
step5-6

中間目標

step3-4

step2

step1



ゼミ発表までの予定(普通教室系グループ)

5/21	木	ゼミ発表教室割発表
5/28	木	ゼミ発表要項説明 ① (スライド作成方法)
6/11	木	ゼミ発表要項説明 ② (評価)
6/25	木	スライド8割以上完成 → 指導教員に見せる
7/ 2	木	スライド完成 (これ以降は微調整)
7/ 9	木	リハーサル (原稿を見ないで話せるよう練習)
7/16	木	ゼミ発表

発表準備 スライド作成・発表原稿準備

タイトルスライドを入れて6~10枚程度

前年度：今年度 = 2：3

1

課題研究メソッド
p.142-144 ①

プレ研究計画書兼報告書
(1) 研究テーマ

生成AIの社会的課題

テーマ

チーム番号： 920

全員の 組番号 + 氏名

チーム番号

メンバー

この3つを必ず入れる

2

課題研究メソッド
p.142-144 ③

プレ研究計画書兼報告書
(2) 研究背景

研究背景

- ・ 初めて発表を聞く人に内容を理解してもらうために、背景となる現状と先行研究・事例を説明する。
- ・ 発表で用いる言葉の意味や定義、現状を表すデータ、先行研究・事例を紹介する。
- ・ これまでにどのような取り組みや研究が行われ、何が分かっているのか、何がすでに解決されているのかなどを説明する。

3

課題研究メソッド
p.142-144 ④⑤

プレ研究計画書兼報告書
(3)① リサーチエスチョン
(3)② リサーチエスチョンの整理

リサーチエスチョン

- ・ 研究に取り組んだリサーチエスチョンの内容とそれが生じた背景を示し、研究の目的を示す。
- ・ この研究で考えられる社会や学術への貢献、社会的な意義を述べることで、聴衆の注目をより集めることができる。
- ・ プレゼンテーションの導入部分として、「この研究は必要だ」、「面白そうだ」というように興味をもってもらえるようにまとめる。

4

課題研究メソッド
p.142-144 ④⑤

プレ研究計画書兼報告書
(3)③ 仮説

仮説と検証方法

- ・ リサーチエスチョンに対し、自分たちの設定した「仮説」(予想される仮の答え)をどのように設定したのかを説明する。
- ・ 先行研究・事例から根拠を持って仮説を示すことが大事である。
- ・ できるだけ複数の仮説を設定する。
- ・ どのような研究方法を用いてリサーチエスチョンの解決に挑むのか、具体的に述べる。
具体的でない例：「インターネットで調べる」、「アンケートを行う」

5

課題研究メソッド
p.142-144 ⑥

研究計画書兼報告書
(4) 研究方法

研究方法

- ・ どのような研究方法を用いてリサーチエスチョンの答えに挑んだのかを具体的に述べる。
(「本で調べた」「アンケートを行った」だけでは不十分)
- ・ ここで時間を割きすぎないよう、端的に述べる工夫が必要。
 - 順序を箇条書きにする。
 - 図や表を用いる。

6

課題研究メソッド
p.142-144 ⑦⑧

研究計画書兼報告書
(5) 研究結果
(6) 考察・結論

結果・考察／結論

- ・ 研究手法を実施した結果得られた定量的データ、定性的データをまとめ、考察・分析をくわえ、リサーチエスチョンに照らして、分かったことや分からなかったことを説明する。
- ・ 聴衆が理解しやすいように、スライドを工夫する。
 - 図や表などの活用
 - 注目して欲しいポイントを色線で囲むなど

最終スライドにて、本発表で引用・参照した文献をまとめて示す。

※詳細は課題研究メソッドp.176－177

- **本(日本語):** 吉川俊哉 (2011). 『大学とは何か』 岩波書店.
(著者) (発行年) (書名) (出版社)
- **論文(日本語):** 中野由美子 (1974). 「階層と言語 教育社会学における言語研究の位置づけ」
(著者) (発行年) (論文のタイトル)
『教育社会学研究』 29(0), 146-160.
(雑誌名) (巻数・号数) (論文のページ)
- **Webページ:** 文部科学省 (2012). 「大学改革実行プラン～社会変革のエンジンとなる大学づくり～」
(作成者) (公開年: 不明な場合は省略可) (Webページ名)
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/022/shiryo/icsFiles/afieldfile/2012/09/19/1325116_7.pdf
(URL)
2020年11月2日.
(アクセス日)

スライドチェックリスト + 支援Gem

SSII 専門的課題研究 ゼミ発表 スライドチェックリスト

チーム番号		
	確認	項目
本文		タイトルはその研究の内容を適切に表しているか？
		所属・名前が明記されているか？
		導入となる序論や研究背景が示されているか？
		一般的でない言葉や、意味や定義があいまいな言葉を説明しているか？
		リサーチエスション（問い）は示されているか？
		仮説が根拠とともに示されているか？
		研究方法が具体的に示されているか？
		用いる研究方法是仮説の検証やリサーチエスションへの回答に適切か？
		引用文献・参考文献を各スライドに示したうえで、最後に正しくまとめているか？
		論理の流れがわかりやすいか？（ストーリーの一貫性）
		スライド1枚あたりの情報量は適切か？（詰め込みすぎでないか）
		発表の時間に対して、スライドの枚数や長さは適切か？
		不快な表現や差別的な表現が使われていないか？
		全体を通して何を伝えたいかが明確になっているか？
体裁		誤字・脱字がないか？
		フォントの種類が統一されているか？
		フォントの大きさは適切か（後方から見えるか）？
		「半角数字」と「全角文字や単位」の間に半角空白を入れているか？
図や表		図や表の活用、デザインも含め、見やすいものになっているか？
		図や表に番号・キャプション（説明）をつけているか？
		グラフの縦軸、横軸に名前をつけているか？
		軸の単位が書かれているか？
		凡例（図の中で使用する記号の意味を説明するもの）が示されているか？
		図や表の説明が本文（口頭説明を想定したスライド内）でなされているか？
		引用先（出典）を明記しているか？



研究発表スライド作成支援
Gem



研

研究発表スライド作成支援

スライドをPDFファイルとしてダウンロード
→ 「**ファイルをアップロード**」でPDF添付



ファイルをアップロード



ドライブから追加



NotebookLM



ツール

025ゼミ発表

PDF PDF

この研究発表スライドの評価をしてください。|



Canvas ×

スライドチェックリスト

SSⅡ 専門的課題研究 ゼミ発表 スライドチェックリスト

チーム 番号		
	確認	項目
本文		タイトルはその研究の内容を適切に表しているか？
		所属・名前が明記されているか？
		導入となる序論や研究背景が示されているか？
		一般的でない言葉や、意味や定義があいまいな言葉を説明しているか？
		リサーチエスチョン（問い）は示されているか？
		仮説が根拠とともに示されているか？
		研究方法が具体的に示されているか？
		用いる研究方法是仮説の検証やリサーチエスチョンへの回答に適切か？
		引用文献・参考文献を各スライドに示したうえで、最後に正しくまとめているか？
		論理の流れがわかりやすいか？（ストーリーの一貫性）
		スライド1枚あたりの情報量は適切か？（詰め込みすぎでないか）
		発表の時間に対して、スライドの枚数や長さは適切か？
		不快な表現や差別的な表現が使われていないか？
		全体を通して何を伝えたいかが明確になっているか？

※ 細かな点も気を配ろう！

△ 長さ30cm ◎ 長さ 30 cm
 □ □

体裁		誤字・脱字がないか？
		フォントの種類が統一されているか？
		フォントの大きさは適切か（後方から見えるか）？
		「半角数字」と「全角文字や単位」の間に半角空白を入れているか？
図や表		図や表の活用、デザインも含め、見やすいものになっているか？
		図や表に番号・キャプション（説明）をつけているか？
		グラフの縦軸、横軸に名前をつけているか？
		軸の単位が書かれているか？
		凡例（図の中で使用する記号の意味を説明するもの）が示されているか？
		図や表の説明が本文（口頭説明を想定したスライド内）でなされているか？
		引用先（出典）を明記しているか？

研究発表のスライドとしてふさわしいものであるかをチェックしよう！

より良い「聞き手」になるために

発表者

「自分一人では気づけなかった新しい視点」
という最高のプレゼント

良い質問とは？

良い質問

良い質問をするには？

「物事を多角的に捉える思考力」
を鍛える絶好のチャンス



《 課題研究発表を「聴く」技術・「質問する」技法 》

課題研究の発表会における「質疑応答」は、発表者と質問者がお互いの視点をぶつけ合い、研究をさらに面白く、深くしていくための「アイデアの交換会」です。

良い質問は、発表者にとって「自分一人では気づけなかった新しい視点」という最高のプレゼントになり、質問者にとっても「物事を多角的に捉える思考力」を鍛える絶好のチャンスになります。

このシートを使って、4つのアンテナを意識しながらメモを取り、お互いの研究の質を高め合う価値のある質問を組み立ててみましょう。

アンテナ①	【なぜ？】(理由・背景)	【どうしてこの方法なんだろう？】と思ったら
ポイント	■ なぜこのテーマ・課題を選んだのか？ ■ なぜ他の方法ではなく、この実験や調査方法を選んだのか？	
質問の目的	発表者が結論に至るまでの「プロセス(過程)」や「意図」を深く理解する。	
質問例	「この調査方法を選んだ理由を詳しく教えていただけますか？」 「他にも選択肢があったと思いますが、なぜこの手法に絞り込んだのか教えてください。」 「この調査(実験)を行う上で、最も重要だと考えた背景やきっかけは何ですか？」	

アンテナ②	【もっと！】(興味・関心)	【面白い！この先どうなるんだろう？】と感じたら
ポイント	■ 「なるほど、面白い！」とワクワクしたポイント ■ この研究がさらに進んだらどうなるかという未来への興味	
質問の目的	発表者のモチベーションを高め、研究の「今後の展望」や「可能性」を一緒に広げる。	
質問例	「○○の部分にとても関心を持ちました。この結果は、私たちの日常生活や社会にどのように応用できそうでしょうか？」 「実験(調査)の過程で、予想外に苦勞した点や、新しく発見した面白さがあれば教えてください。」	

アンテナ③	【もし自分なら…】(別アプローチ)	【自分なら違う方法を試すかも！】とひらめいたら
ポイント	■ この条件を変えたら結果はどう変わるのか？ ■ 別の材料や、違う手順でも試せるのではないかな？	
質問の目的	別の視点(新しいアプローチ)を提案し、研究をさらに多角的にする。	
質問例	「私は○○というアプローチも考えられると思いますが、今回の研究でその方法は検討されましたか？」 「もし○○という条件に変えて検証した場合、結果にどのような違いが出ると思いますか？」 「今回の調査対象を○○(別の年代など)に広げてみた場合、同じような傾向が見られるでしょうか？」	

アンテナ④	【本当かな？】(データ・事実)	【このデータだけでそう言い切れるかな？】と立ち止まったら
ポイント	■ グラフの急激な変化や、不自然に感じる数字 ■ 例外的なデータや、結論に対する根拠(エビデンス)の強さ	
質問の目的	データの解釈を確かめ、研究全体の論理的な正しさをより強固にする。	
質問例	「グラフの○○という急激な変化(または結果)について、何か原因として考えられることはありますか？」 「データの中に例外的な数値や、少し異なる傾向の数字が見られた際、どのように解釈(整理)されたか教えてください。」 「もし○○という例外的なデータや、今回の結論と異なる結果が出てきたとしたら、どのようにそのデータを捉え(分析)しますか？」	

4つのアンテナを持って発表を聴く

アンテナ ①	【なぜ？】 (理由・背景)	「どうしてこの方法なんだろう？」と思ったら 発表者が結論に至るまでの「プロセス(過程)」や 「意図」を深く理解する。
アンテナ ②	【もっと！】 (興味・関心)	「面白い！この先どうなるんだろう？」と感じたら 発表者のモチベーションを高め、 研究の「今後の展望」や「可能性」を一緒に広げる。
アンテナ ③	【もし自分なら…】 (別アプローチ)	「自分なら違う方法を試すかも」とひらめいたら 別の視点(新しいアプローチ)を提案し、研究をさらに 多角的にする。
アンテナ ④	【本当かな？】 (データ・事実)	「このデータだけでそう言い切れるかな？」と 立ち止まったら データの解釈を確かめ、 研究全体の論理的な正しさをより強固にする。

「探究ノート」への記録を！

Classroom 「【全般】 探究ノート」

高校46期 SS I・II (総合探究)		探究ノート					
チーム番号		クラス	1 -	番号		氏名	
共同研究者							
↑ チームメンバー全員の組番号と氏名を記載 (例: 640 芝浦 太郎 710 柏 花子)							
【日々の活動記録】 (①を授業開始時に、②③を授業終了時に記入)							
日付	活動記録 ①今日の予定・目標 ②本日の活動内容 ③次に行うこと、次までに行うこと						
10/23	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
10/30	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
11/13	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
11/20	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
11/27	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
12/4	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						

★作成のポイント★

毎回、**活動記録**は必ず書く！

①今日の予定・目標

授業開始時

②本日の活動内容

授業終了
5分前

③次に行うこと

個人でまとめるワークシートで、
その他の使い方は自由です。